

公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター 沿革

旧（財）新宿区勤労者福祉サービスセンター		旧新宿区障害者就労福祉センター	
昭和59年	新宿区において、勤労者互助共済制度の確立を重点事業として位置づけ、3か年計画で実施することを決定	平成4年 11月	新宿区基本計画で障害者福祉事業機関の設置が盛り込まれる。
昭和61年	東京都新宿区勤労者互助共済制度設立準備委員会において、新宿区勤労者共済会の事業内容、会員の資格、会費、規約等を検討し、区長に対し、答申	平成6年 1月	新宿区障害者事業機関検討委員会における検討を経て新宿区長あてに設立の提言がある
昭和62年 4月	新宿区勤労者共済会 発足	平成6年 7月	新宿区障害者就労福祉センター 発足
平成4年 2月	勤労者共済会理事会において、財団設立について協議		
平成5年 3月	東京都に財団法人設立許可申請		
平成5年 3月	新宿区勤労者共済会 解散		
平成5年 4月	財団法人新宿区勤労者福祉サービスセンター 設立		
平成20年 1月	新宿区「第一次実行計画」において、「外郭団体の自立と統合」を推進するため、「新宿区障害者就労福祉センター」を核とした「(仮称)新宿仕事センター」の平成21年度設立が決定となった。それに伴い「財団法人新宿区勤労者福祉サービスセンター」との統合についても方針決定となった。		
平成21年 2月	新宿区は、「(仮称)新宿仕事センター」を平成21年4月に「一般財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター」として設立を決定。既存の2団体は平成21年3月31日をもって解散（廃止）することとなった。		
平成21年 3月	財団法人新宿区勤労者福祉サービスセンター 解散 新宿区障害者就労福祉センター 廃止		
平成21年 4月	財団法人新宿区勤労者福祉サービスセンターと新宿区障害者就労福祉センターが統合し、一般財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター 設立		
平成21年 5月～	理事会、評議員会において、公益財団法人へ移行する新宿区の意向を了承した。これに伴い、公益認定申請を平成21年度中に行うこととした。		
平成21年 12月	東京都公益認定等審議会の答申、東京都の認定を受け、公益財団法人へ移行法人名を公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センターと改めた。		
平成23年 4月	財団本部を新宿ここ・から広場へ移転 東京労働局の認可を受け、社会福祉法人新宿区社会福祉協議会から、無料職業紹介事業所（新宿わく☆ワーク）を移管 東京都の事業者指定を受け、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業所「わーくすここ・から」を開設		
平成24年 2月	四谷サテライトオフィス 閉鎖		
平成24年 3月	薬王寺サテライトオフィス 閉鎖		
平成24年 4月	IT就労訓練事業を開始		
平成25年 4月	新宿区から雇用促進支援事業及び内職相談を移管		
平成27年 7月	ここからジョブ新宿（無料職業紹介事業）、新宿若者ワンステップ応援事業を開始		